

病 態 病 理

[M2-40016X1]

1 ユニットの概要

病態病理では臨床医学を理解するために、各臓器組織の差を超えて共通にみられる病変の原因と病態の基本的概念を習得する。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術（診療の実践）
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 ユニット学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の学修成果との関連を示す。

- 病理学とは何か、病理医の役割を理解し、検査方法の原理を説明できる。(①②④⑤⑥)
- 基本的病変の用語を理解し、形態学的変化と機能的障害との関係を説明できる。(③④⑥)
- 細胞傷害の機序とその修復、炎症、感染症、免疫とその異常、代謝障害、循環障害、染色体・遺伝子および発生の異常、腫瘍の原因と成り立ちを理解し、説明できる。(③⑥)

4 方 略

統合型講義、実習、外部講師による特別教育講義

5 評価

学修成果は次の評価項目を総合して評価する。

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習・レポート	技能・態度	
	小テスト	知識	
	中間試験・本試験	知識	
総括的評価	中間試験・本試験	知識	90%
	実習・レポート	技能・態度	10%
合 計			100%

(特記事項)

中間試験、本試験の点数配分は、講義・実習の講座ごとの時間数を反映させる。

ユニットの単位認定は、中間試験・本試験の結果、実習でのスケッチ・レポートで行う。

中間試験の点数は公開しない。

再試験の評価には、中間試験・本試験の結果が一部反映される。

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

各講義内容に合わせて、事前に指定された教科書（標準病理学）の総論と関連する各論の項目及と推薦参考書を読んでおくこと。

事前に提供されるシラバスの資料についても、あらかじめ目を通しておくこと。

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

1 時限あたり 予習 30 分、復習 30 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中の中間試験に関しては、学生からの質問や正解率が低い問題に関し、講義での解説により適宜フィードバックを行う。尚、中間試験・本試験に関しては点数を公表しない。

実習中ならびにレポート作成時の学生からの質問に対し、個別あるいは必要に応じ全体に解説を提示する。

9 教育担当者

ユニット責任者：清川 悦子（病理学Ⅰ）

教 授	山田 壮亮（臨床病理学）
准 教 授	島崎 都（病理学Ⅱ）
講 師	塩谷 晃広（臨床病理学）
助 教	熊谷 泉那（病理学Ⅱ）
	韓 佳（臨床病理学）

10 参考図書・文献

購入すべき図書（教科書）

北川昌伸（監修）、仁木利郎・小田義直（編集）：標準病理学，第7版，医学書院

購入するとよい図書（参考書）

- 1) 豊國伸哉、高橋雅英（監訳）：ロビンス基礎病理学，原書10版，丸善
- 2) 小田義直、坂元亨宇、深山正久、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也（編集）：組織病理アトラス，第6版，文光堂
- 3) 下政宗、長嶋洋治（編集）：正常画像と比べてわかる 病理アトラス，第3版，羊土社
- 4) 青笹克之 監修：解明病理学 病気のメカニズムを解く，第4版 医歯薬出版
- 5) 渡辺照男 編集：カラーで学べる病理学，第5版 スーヴェルヒロカワ

読んでみるとよい図書

- 1) 小倉加奈子：細胞を間近で見たらすごかった ——奇跡のようなからだの仕組み（ちくま新書 1886） 筑摩書房
- 2) 小倉加奈子：おしゃべりながんの図鑑 病理学から見たわかりやすいがんの話 CEメディアハウス
- 3) 仲野徹：こわいもの知らずの病理学講義 晶文社
- 4) Robert Weinberg: The Biology of Cancer WW Norton & Co

参考となるサイト：日本病理学会「病理コア画像」

<https://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html>

第2学年

病態病理

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	9月29日	(火)	3	講義	病理学とは	GE-01-01-01,GE-01-01-02,GE-01-01-03,LL-01-01-01	病理学Ⅰ	清川教授
前	2	9月29日	(火)	4	講義	病理学的検査について	SO-03-01-05,PS-01-01-01	病理学Ⅰ	清川教授
前	3	9月29日	(火)	5	講義	細胞傷害の機序とその修復1	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04,PS-01-01-05,PS-01-01-09,PS-01-01-10,PS-01-02-33	病理学Ⅰ	清川教授
前	4	9月29日	(火)	6	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック1(止血・凝固・出血1)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
前	5	9月29日	(火)	7	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック2(止血・凝固・出血2)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
前	6	9月30日	(水)	1	実習	病理組織実習(臓器の復習1)	GE-01-01-01,PS-01-02-10	病理学Ⅰ	清川教授
前	7	9月30日	(水)	2	実習	病理組織実習(臓器の復習2)	PS-02-01-01,PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12	病理学Ⅰ	清川教授
前	8	9月30日	(水)	3	実習	病理組織実習(臓器の復習3)	PS-01-02-12,PS-01-02-13,PS-01-02-14	病理学Ⅰ	清川教授
後	9	10月01日	(木)	1	講義	炎症とは	PS-01-04-15	臨床病理学	山田教授
後	10	10月01日	(木)	2	講義	炎症の過程	PS-01-04-16	臨床病理学	山田教授
後	11	10月01日	(木)	3	講義	炎症に関与する因子	PS-01-04-16	臨床病理学	山田教授
後	12	10月01日	(木)	4	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック3(止血・凝固・出血3)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	13	10月01日	(木)	5	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック4(血栓症・塞栓症・梗塞1)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	14	10月01日	(木)	6	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック5(血栓症・塞栓症・梗塞2)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	15	10月01日	(木)	7	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック6(血栓症・塞栓症・梗塞3)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	16	10月02日	(金)	1	講義	細胞傷害の機序とその修復2	GE-03-06-01,PS-01-04-05,PS-01-04-06	病理学Ⅰ	清川教授
後	17	10月02日	(金)	2	講義	細胞傷害の機序とその修復3	PS-01-02-15	病理学Ⅰ	清川教授
後	18	10月02日	(金)	3	講義	細胞傷害の機序とその修復4	PS-01-02-15	病理学Ⅰ	清川教授
後	19	10月05日	(月)	3	講義	代謝障害	PS-01-04-07,PS-01-04-08,PS-01-04-09,PS-01-04-10	病理学Ⅰ	清川教授
後	20	10月06日	(火)	3	講義	腫瘍1(定義)	PS-01-04-20,PS-03-04-01	病理学Ⅰ	清川教授
後	21	10月06日	(火)	4	講義	腫瘍2(分類)	PS-01-04-19,PS-03-04-06,PS-03-04-07	病理学Ⅰ	清川教授
後	22	10月06日	(火)	5	講義	炎症反応と分類	PS-01-04-16	臨床病理学	山田教授
後	23	10月06日	(火)	6	講義	急性炎症	PS-01-04-16	臨床病理学	山田教授
後	24	10月06日	(火)	7	講義	慢性炎症	PS-01-04-16	臨床病理学	山田教授
後	25	10月07日	(水)	1	実習	病理組織実習(細胞傷害)	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04,PS-01-01-05,PS-01-01-09,PS-01-01-10	病理学Ⅰ	原非常勤講師, 清川教授
後	26	10月07日	(水)	2	実習	病理組織実習(修復)	PS-01-02-15	病理学Ⅰ	原非常勤講師, 清川教授
後	27	10月07日	(水)	3	実習	病理組織実習(適応)	PS-01-02-15	病理学Ⅰ	原非常勤講師, 清川教授
後	28	10月08日	(木)	1	実習	病理組織実習(循環障害)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	29	10月08日	(木)	2	実習	病理組織実習(循環障害)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	30	10月08日	(木)	3	実習	病理組織実習(循環障害)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	31	10月13日	(火)	3	講義	腫瘍3(境界病変)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	清川教授
後	32	10月15日	(木)	1	講義	臨床研究と基礎研究を繋ぐ、研究手法と実験方法	RE-01-02-01,RE-03-03-03	臨床病理学	韓助教
後	33	10月15日	(木)	2	講義	臨床研究と基礎研究を繋ぐ、研究手法と実験方法	RE-01-02-01,RE-03-03-03	臨床病理学	韓助教
後	34	10月15日	(木)	3	講義	臨床研究と基礎研究を繋ぐ、研究手法と実験方法	RE-01-02-01,RE-03-03-03	臨床病理学	韓助教
後	35	10月20日	(火)	1	講義	細菌感染の病理	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17	臨床病理学	塩谷講師
後	36	10月20日	(火)	2	講義	真菌感染症の病理	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17,PS-01-03-05,PS-01-03-12	臨床病理学	塩谷講師
後	37	10月20日	(火)	3	講義	寄生虫・プリオン病	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17	臨床病理学	塩谷講師
後	38	10月20日	(火)	4	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17	臨床病理学	塩谷講師,山田教授,韓助教
後	39	10月20日	(火)	5	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17	臨床病理学	塩谷講師,山田教授,韓助教
後	40	10月20日	(火)	6	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	PS-01-04-15,PS-01-04-16,PS-01-04-17	臨床病理学	塩谷講師,山田教授,韓助教
後	41	10月22日	(木)	1	講義	環境性疾患1	SO-01-04-03	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	42	10月22日	(木)	2	講義	環境性疾患2	PS-01-02-34	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	43	10月22日	(木)	3	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック7(うっ血・水腫)	PS-01-04-13	病理学Ⅱ	熊谷助教
後		10月24日	(土)	1	試験	中間試験			
後		10月24日	(土)	2	試験	中間試験			
後		10月24日	(土)	3	試験	中間試験			

第2学年

病態病理

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	44	10月26日	(月)	3	講義	腫瘍4(癌の浸潤・転移)	PS-01-04-23	病理学Ⅰ	清川教授
後	45	10月27日	(火)	1	実習	病理組織実習(腫瘍1)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	福島非常勤講師, 清川教授
後	46	10月27日	(火)	2	実習	病理組織実習(腫瘍1)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	福島非常勤講師, 清川教授
後	47	10月27日	(火)	3	実習	病理組織実習(腫瘍1)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	福島非常勤講師, 清川教授
後	48	10月29日	(木)	4	講義	動脈硬化と実験病理	PS-01-04-12,PS-01-04-18	臨床病理学	山田教授
後	49	10月29日	(木)	5	講義	動脈硬化と実験病理	PS-01-04-12,PS-01-04-18	臨床病理学	山田教授
後	50	10月29日	(木)	6	講義	動脈硬化と実験病理	PS-01-04-12,PS-01-04-18	臨床病理学	山田教授
後	51	11月05日	(木)	4	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック8(心不全・ショック1)	PS-02-06-02	病理学Ⅱ	熊谷助教
後	52	11月05日	(木)	5	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック9(心不全・ショック2)	PS-02-06-02	病理学Ⅱ	熊谷助教
後	53	11月05日	(木)	6	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック10(心不全・ショック3)	PS-02-06-02	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	54	11月06日	(金)	1	講義	腫瘍5(癌の診断と治療・予後)	PS-01-04-22	病理学Ⅰ	清川教授
後	55	11月06日	(金)	2	講義	特別講義「病理診断学概論」	PS-03-04-06	病理学Ⅰ	小倉加奈子非常勤講師
後	56	11月06日	(金)	3	講義	特別講義「病理診断学概論」	PS-03-04-07	病理学Ⅰ	小倉加奈子非常勤講師
後	57	11月09日	(月)	3	講義	腫瘍6(腫瘍の生物学1)	PS-01-02-06,PS-01-02-07,PS-01-02-08	病理学Ⅰ	清川教授
後	58	11月10日	(火)	4	実習	病理組織実習(腫瘍2)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	清川教授
後	59	11月10日	(火)	5	実習	病理組織実習(腫瘍2)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	清川教授
後	60	11月10日	(火)	6	実習	病理組織実習(腫瘍2)	PS-01-04-21	病理学Ⅰ	清川教授
後	61	11月12日	(木)	1	講義	遺伝性疾患及び小児疾患1(小児がん)	PS-01-01-06	臨床病理学	塩谷講師
後	62	11月12日	(木)	2	講義	遺伝性疾患及び小児疾患2(遺伝子病)	PS-01-01-06	臨床病理学	塩谷講師
後	63	11月12日	(木)	3	講義	遺伝性疾患及び小児疾患3(先天異常)	PS-01-01-07	臨床病理学	塩谷講師
後	64	11月12日	(木)	4	講義	免疫の異常2	PS-03-02-02	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	65	11月12日	(木)	5	講義	免疫の異常3	PS-01-03-27	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	66	11月12日	(木)	6	講義	免疫の異常4	CS-02-04-43	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	67	11月16日	(月)	3	講義	腫瘍7(腫瘍の生物学2)	PS-01-02-06,PS-01-02-07,PS-01-02-08	病理学Ⅰ	清川教授
後	68	11月19日	(木)	1	講義	血行動態の異常,血栓症およびショック11(心不全・ショック4)	PS-03-05-02	病理学Ⅱ	熊谷助教
後	69	11月19日	(木)	2	講義	循環障害、臓器不全1	PS-03-05-14	病理学Ⅱ	熊谷助教
後	70	11月19日	(木)	3	講義	免疫の異常1	PS-01-03-29	病理学Ⅱ	島崎准教授
後	71	11月19日	(木)	4	実習	病理組織実習(循環障害)	PS-02-06-02	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	72	11月19日	(木)	5	実習	病理組織実習(循環障害)	PS-02-06-02	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	73	11月19日	(木)	6	実習	病理組織実習(免疫の異常)	PS-03-02-02	病理学Ⅱ	島崎准教授,熊谷助教
後	74	11月20日	(金)	1	講義	腫瘍8(腫瘍の生物学3)	PS-03-04-03,PS-03-04-04	病理学Ⅰ	清川教授
後	75	11月20日	(金)	2	講義	腫瘍9(腫瘍の生物学4)	PS-01-01-09,PS-01-01-10	病理学Ⅰ	清川教授
後	76	11月20日	(金)	3	講義	腫瘍10(化学発癌)	PS-01-04-20	病理学Ⅰ	清川教授
後	77	11月24日	(火)	4	講義	腫瘍11(ウイルス発癌)	PS-01-04-20,PS-01-04-21,PS-01-04-22	病理学Ⅰ	清川教授
後	78	11月24日	(火)	5	講義	腫瘍12(癌遺伝子)	PS-01-04-20	病理学Ⅰ	清川教授
後	79	11月24日	(火)	6	講義	腫瘍13(癌抑制遺伝子)	PS-03-04-02	病理学Ⅰ	清川教授
後	80	11月25日	(水)	1	講義	腫瘍14(がん分子標的治療)	PS-03-04-25	病理学Ⅰ	平田客員教授
後	81	11月25日	(水)	2	講義	腫瘍15(がん免疫療法)	PS-01-03-30,PS-01-04-24	病理学Ⅰ	平田客員教授
後	82	11月25日	(水)	3	講義	腫瘍16(疫学)	PS-03-04-02	病理学Ⅰ	清川教授
後	83	11月26日	(木)	1	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	岡野慎士非常勤講師
後	84	11月26日	(木)	2	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	岡野慎士非常勤講師
後	85	11月26日	(木)	3	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	岡野慎士非常勤講師
後	86	11月27日	(金)	1	実習	病理組織実習(腫瘍3)	PS-01-04-23	病理学Ⅰ	清川教授
後	87	11月27日	(金)	2	実習	病理組織実習(腫瘍3)	PS-01-04-23	病理学Ⅰ	清川教授
後	88	11月27日	(金)	3	実習	病理組織実習(腫瘍3)	PS-01-04-23	病理学Ⅰ	清川教授
後	89	12月01日	(火)	1	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	堀江真史
後	90	12月01日	(火)	2	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	堀江真史
後	91	12月01日	(火)	3	講義	特別講義	PS-01-04-22	臨床病理学	堀江真史
後		12月05日	(土)	1	試験	本試験			
後		12月05日	(土)	2	試験	本試験			
後		12月05日	(土)	3	試験	本試験			